

I . 調査の概要

1 調査目的

平成20年3月に、「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進要綱」が策定され、内閣府においても、当該要綱に基づき関係機関との連携を図りながらバリアフリー・ユニバーサルデザインの一層の推進に努めているところである。

関係各省庁にまたがる横断的な課題であるバリアフリー・ユニバーサルデザインに関して、総合的かつ計画的に各種施策をより効果的に推進するためには、的確に国民のバリアフリーに関する現状の認識・評価や将来のニーズを把握することが重要である。

このため、本調査では、バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する意識調査を行い、今後のバリアフリー・ユニバーサルデザインの推進に資することを目的としている。

2 調査概要

(1) 調査項目

バリアフリー・ユニバーサルデザイン、生活や社会でのバリアフリー化、心のバリアフリー等

(2) 調査対象

全国の15歳以上の男女
全国の性別・年代別人口分布を基に抽出

(人)

	15～19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代
男性	70	163	206	190	183	199	196
女性	67	156	201	188	186	212	283

(3) 調査期間

平成29年2月10日（金）～2月12日（日）

(4) 調査方法

調査会社の登録モニターに対するインターネット調査

(5) サンプル数

2,500人

(6) 調査会社

株式会社クロス・マーケティング